

校舍再編成 向窓会記念館

新樂府再始まる

所教頭上一条勸

先日、同窓会関西支部総会に、同窓会の奥村幸三監事、熊谷利作事務局長と共に出席し、松村正澄会長をはじめ、多数の皆様にお逢いできたことは、私にとても大きなよろこびであった。去る八月十六日飯田市福祉センターで開かれた同窓会総会といい、このたびの関西支部総会といい、同じ学窓で青春時代の哀歎を繰りひろげ、「言葉につながり、血につながり、心につながる」意識によって結ばれた先輩や後輩が一堂に会して、いかにも和気あいあいと歓談している姿は、

實に素晴らしい情景ではないかと私は、そのたびに大きな感嘆にひたっている。

古い歴史と輝やかしい伝統は七十年を闊し、学窓を築立った卒業生は、実に二万三千有余、なかには、遠く海外に雄飛して、少年時代の大志を立派に実現し、成功をおさめているかたもあり、また、国内津々浦々において、政治、経済、法曹、刀圭、金融、教育をはじめあらゆる産業界各分野において、活躍しておられることは、なんとしても力強い限りであり、心からの敬意を表すると共に、一層の御

在の過疎化現象が、果してどのように変化していくか議論の分かれるところである。ともあれ、この過疎化現象のあらわれとして、飯伊地方の中学校生徒数の減少は、ここ当分は続いているのである。すなわち、中学校卒業生数の年次別推移をみると、昭和四十五年度三〇五八、四十六年度三〇七〇、四十七年度二八七〇、四十八年度二九九四、四十九年度二六八六、五十年度二五一五と見込まれ、五年間に約五五〇名減という傾向にある。中学生数の減少傾向は高校にとっても、非

常にさびしいことであるが、入学してくる生徒に対しても、密度の濃い教育をしては、密接な連絡をもつて、学力、体力、人格ともにすぐれた人間を育成するよう浑身の努力を傾けていきたと考へている。

や、河畔のあちこちに樹木にかこまれて点在する民家のかたすまいは、よく周囲の景色と調和して、一幅の南画を見る心地さえする。そしてこの恵まれた自然の中で育くまれる者のはあわせを感じるのである。

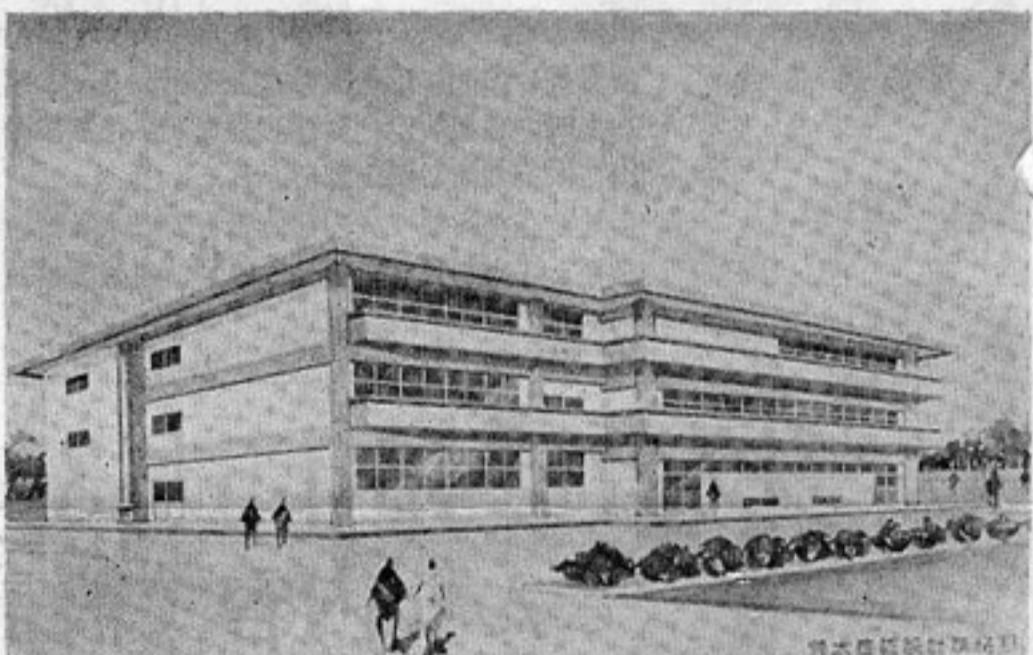
ないのは、恵まれた環境のおかげではないかと思つてゐる。

人間の生活には、経済面の生活（産業活動）、文化面の生活（学術、教育、教養を高める活動）、生理面の生活（保健衛生等、生存し健康を維持する活動）の三つが考えられ、それぞれの面は、密接に、有機的な関連をもつてゐると思う。いま問題になつてゐる産業公害は、經濟面の発達が、生理面や文化面に悪影響を及ぼしている結果である。言ふまでもなく、この三者のうち、最も重要かつ本質的な

四十五年度の飯田高校同窓会総会は八月十九日飯田市福祉センターで開かれた。議事に①会務報告②四十四年度決算報告③四十五年度予算審議④同窓会記念館建設計画並に募金について⑤名簿について⑥その他、とからなっている。特に第四号議案の「同窓会記念館及び校舎建設委員会組織について」も満場一致で可決され、校舎建設計画が更に具体化された。なお校舎建設事業の経過は別紙を参照。

飯田高校同窓会報

第二号
発行所
長野県飯田高等学校同窓会
編集発行人
矢沢坦
印刷所
南信州新聞社印刷局



新校舎完成時の外観

すれにしても実にうれしい限りである。しかし、この美しい自然がいつまで続くか、それはわからない。山河の秀でた素晴らしい自然と、その中に生活する人々の優しく清らかな心は、いつまでも残しておきたいものと急じている。校歌の二節に「あゝ白雪の谷深く、都の裏も通いこぬ、この山川のうちにこそ、まことの丈夫出づるなれ……」とられたわれているが、健康を蝕む公害も、心情を蝕む俗廻りも、できることならばしりぞけておきたいものである。

建設委員会組織と任務

一 組 織

建設委員長	(同窓会長)
建設副委員長	(同窓会副会長・PTA会長・副会長・尚志社理事長・教頭)
事務局長	(事務長)
・事務局員	(同窓会事務局員・PTA係同窓会係・教務係)
建設常任委員会	(同窓会役員・同窓会回期代表者若干名・PTA役員・尚志社理事代表・校内同窓会係・教務係・PTA係・事務職員・施設係)
建設委員会	(同窓会常任実行委員会・PTA役員全員・尚志社理事全員・同窓会校内幹事・学年主任・施設係)



監査委員 (同窓会監事・PTA会計監査・尚志社理監査)

(学校長・元学校長・飯田市長・上郷町長・下伊那町村長会長・飯田商工会議所会頭・地区選出県會議員・PTA顧問・同窓会顧問・同窓会支部長)

2 任務

建設委員長

建設副委員

卷之三

中班 语言活动

卷之三

監查委員會

校舎建設委員会を代表し、一切の会務を統轄する。建設常任委員会・建設委員会を召集しその議長となる。建設委員長を補佐し建設常任実行委員会・建設委員会

なる。

建設委員長の監督を受け、建設に関する事務及び会計をつかさどる。事務局長は事務局を代表する。委員長の諮詢に応え次のことを行なう。(1)事業の計画及び変更の承認 (2)緊急なる事項の処理 (3)必要な場合、建設委員会に代る (4)その他必要と認められた事項の決定。

委員長の諮問に応え次のことを行なう。(1)建設に関する大綱の審議決定 (2)建設委員長・建設副委員長の選出 (3)その他必要と認められる事項。

会計監査を行なう。(内部施設を監査することを含む)
必要と認められる事項について、建設委員長の諮問に
応える。

ものは人間の生理面の生活でなければならない。人間の健康が保持されて、はじめて、経済の発達も、文化の向上も可能なわけである。いやしくも、産業公害が病魔を蔓延させたり、生命を危殆におとしいれたりするようなことがあっては本末顛倒である。

いわゆる都市計画で、いわゆる宅地帯、教育文化地帯、工場地帯などは、それぞれ生活が、他を蝕むことないように考へ出されたのと思う。ところが、最大では、産業の規模は大きくなりは複雑になつてゐるで、従来からの工場地帯限らず、全国が多かれ少なかれ工場地帯であるとさ言えるところに問題の深さがあるわけである。これら産業公害の防止につい

は、それぞれ適当な規制を加えることが必要なことの当然であろう。

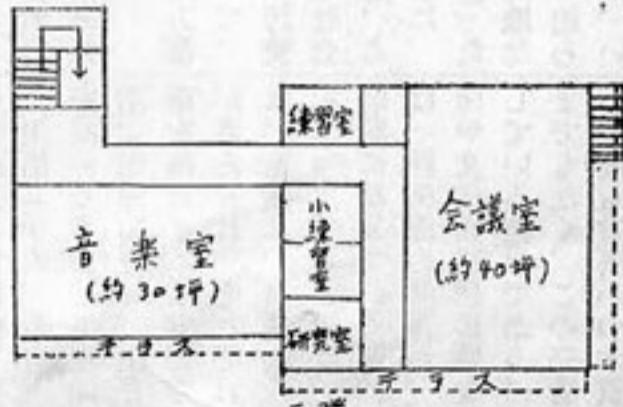
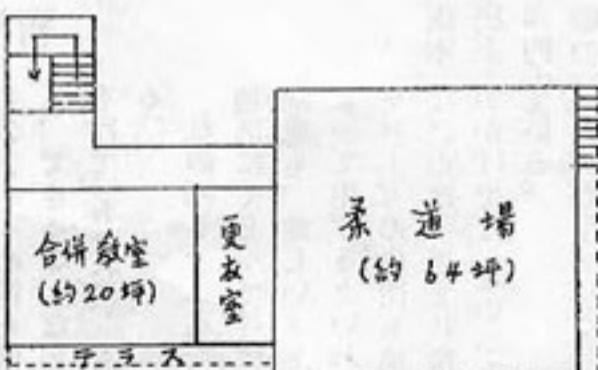
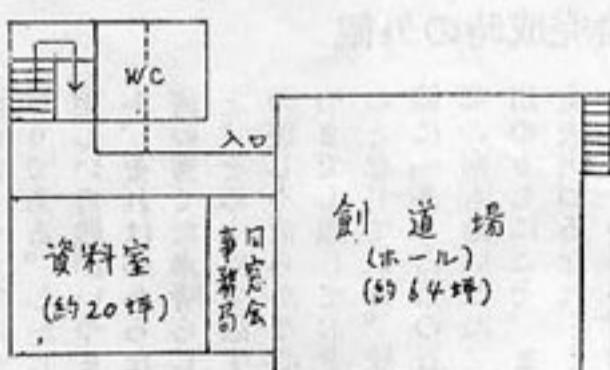
さいわいなことに現在まで、飯伊地方は、過度の商業発達がなく、過疎地帯にあるためか、人の健康を保持する上では恵まれていると思う。このような自然に恵まれた所にこそ文化の花はふく郁と咲くはずである。先日、東京で亡くなれた当地出身の宮沢芳重が、生前、本校屋上の天

を台を、また、飯田市図書館に数千冊の図書を贈り「飯田大学」設立を悲願としておられたことは、このように故郷の恵まれた自然に眼をつけられたものと思い、そのけい眼に敬意を表すると共に心から冥福を祈りたいと思う。

これから、中央道開通が実現すると、交通が便利となり、東京や中京地区との距離が著しく縮まり、わずか二・三時間以内で結ばれ

ることになれば、飯伊地方にも新しい時代が訪れる事となる。大学や企業の研究機関が設置されたり、あるいは、都市生活者の週末旅行の別荘ができたりするかも知れない。どんな場合になっても故郷の美しい自然と、清らかな人心を愛しつつ、正しい生きかたを貫ぬいていけるような人材の育成に、全力を傾けたいと私は考へてゐる。（終）

校舎は46年5月31日完成される
こんな内容で設計されている



- 募金組織と募金方法を審議決定。同窓会総会の決定に基き、最低一・〇〇万円の募金計画を立て一口二千円、一口以上の募金とし、各回建設常任実行委員を中心に募金を推進することになった。

○ 七月三十一日 同窓会役員会

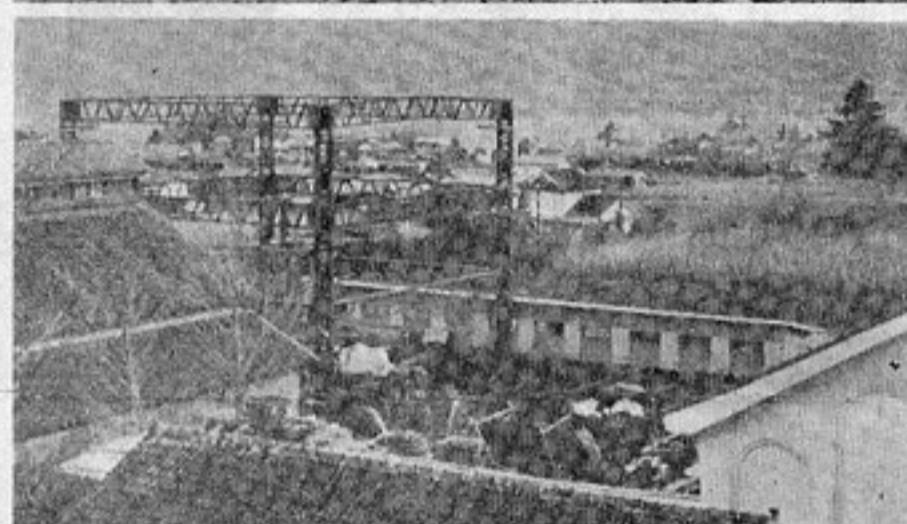
建設委員会組織（同窓会 P.T.A.、尚志社、学校による新組織）について承認

○ 八月十六日 同窓会幹事会及び総会

建設委員会組織について募金方法について承認。
以後建設委員会により校舎建設計画がすすめられる。

○ 八月二十九日 第一回建設常任委員会
学校・同窓会・P.T.A.・尚志社各関係の委員出席組織に関する承認を得る

○ 九月十八日



坤鎮祭(上)と校舎建設中(下)

校舎建設事業の経過

中途に現在鉄骨のワク組み
が寒風をついて行なわれて
、。

新校舍建設始

第一期工事の新校舎の地鎮祭も終り、来年六月完成を

- 建設委員会組織（同窓会 P.T.A.、尚志社、学校による新組織）について承認

八月二十九日 第一回建設常任委員会
学校・同窓会・PTA・
尚志社各関係の委員出席
組織に関する承認を得る
○九月十八日
県施設課による入札によ
り細沢工務店落札

野球、松商学園に勝つ

ラブの活動は各班体園予選等に参加し、熱戦をくりひろげたが、中でも毎年出ると敗けの野球部の活躍が特筆される。夏の全国高校野球長野県大会において昨年

米大陸から母校

を發展
祈る

の優勝校松商学園を四時間
余の大熱戦の末8対6で
勝利をおさめ、余勢をか
て対長野高専戦にも3対0

と十二年ぶりに準々決勝進出した。念願の甲子園に場を約束されたかにみえが今大会優勝の須坂園芸

に5対0と敗れ、今一步の
押しが望まれるところでさ
る。

の
め
おり、服装の規定制限はありませんが、教師も生徒もタバコはキャンバスの中では一切すつてはいけない。

その歴史を探る

長年学生寮として利用して来た青々寮は、最近その老朽化がひどく、利用者も激減して来たため閉鎖廃寮に決まり七月十六日閉寮式を行なった。式は旧寮生十数人と同窓会役員が参列して歓送に行われた。式終了後見晴山にて旧寮生を交えて青々寮の思い出を語り合いなごやかな雰囲気のうちに解散した。

に依つたもので、青々と草木の茂る意味と人材を育成する意味とを含み、此地と私共の念願を表わすものにして選んだのであります」
青々山塾から青々寮へ

ため、教職員、生徒に
り解体し現位置に移転
等々寮々と改名する。
▽昭和四十五年三月
等々寮の老朽化著しく
遂に閉鎖廃寮。

し、そんな経験がなくては、社会というものはどうにやつていけるものなのだが、現に大人の大部分は、穿うな団体生活の経験のある者は、ごく少ないはずだ。

て、時々たたみが落ちたことにか
ともあつた。この名実共に
古い寮……こので寮毎日を
送つてゐる俺は幸せだ。お
母ちゃんの許をはなれてい
るというさびしさは少なか
い。

つには学林作業その他、学校行事の際の合宿訓練所に充つる目的を以つてが建設の要。終わりに輝かしき世纪の式典を記念する為によせて、道場をも建設せんとする事に決定す。

菁々寮々歌（第一

歌
(第二)

寮日誌から
五月二十二日(月)

天候
察に
か?
見て

いて何のためになつた
現在この生活から何を
いるのか？今の俺にし

よ／ど、キナ
はもぢる

うんわかっている
セキを信じていま

まく

2

紀の式典を記念する為によせて、道場をも建設せんとする事に決定す。

▼落成に至るまでの経過

▽昭和十六年六月
練成道場設計図完成

▽七月二十八日

現地に於いて地鎮祭を行なう、終わって敷地の地ならしを以つて工を起す。主として五年生が作

① ここ高松の台東に
東風吹き来たり若草の
芽ぶくになべて 梅薫る
この村里に 来たり去る
学徒のしぶみ いや深し

② 東の空 澄み渡り
鶴鳴告ぐる あさぼらけ
此の朝まだき 起き出でて
静かに想う 幾星霜
若人何か 成らざらん

さて、ここで寮生活といふものについて感じてゐることを少し書きたいと思う。興味のある人は読んで欲しい。金があつて勉強だけに打ち込んでいく仙人的な生活のしたい奴は、こんな待遇の悪い、自由を束縛された寮生活をする馬鹿はないと思う。俺は三年間

ってはこの答は何もない。しかし、俺の場合、何かようとしていることは確だ。自分勝手な自由自在下宿生とは、根本的に異なる、寮生活に俺は何だからないが何かプラスにならぬことを求めていることはかだ。団体生活の規律か会性か、規則正しい生活？確かにそれである。し

とにかく明日もう一口
つていてるテストにこのせ
全精力をぶつけようう
ないか。そして、でき
できなくともテストが終
ったということを皆でし
めよう。

A detailed illustration of a maple leaf with its central stem and veins.

A detailed line drawing of a maple leaf, showing its characteristic five-lobed shape with serrated edges.



えなければ、寮生は下宿をした方がました。いや、何らかの解決点を見い出そうと努力しなければと言い直そう。ただ、寝て起きて勉強するだけの生活を望むのなら下宿へ行け！ 寮生活はその上に何かをプラスしなければならないんじゃないだろうか。時々、こんなことを考えよう。

五月二十九日（火）晴
第一学期中間考査、二日目も終わった……。え？ 結果って？ そりゃ君、できた奴はできたし、できん奴は

（強い雨）が降ると天井から水が落ちてくるこの情態もこの寮ならではの体験だ。
俺も単位があぶなかつたけれど誰かが三年に上げてくれた。ここまで来たのだから必ず三年間で高校課程を終えたいし、また終えるつもりだ。そしてその時はこの青々寮ともお別れとなるのだ。しかし寮は俺の第四番目の故郷としていつまでも心の奥深く残しておきたい。



会員名簿内訳統計並に参考資料表 45.12.1現在

回数	名記載人數	簿重複人數	故人	不明人數	差実人員	引維持会費納入済数	回数	名記載人數	簿重複人數	故人	不明人數	差実人員	引維持会費納入済数
中1	20		17	1	2		40	122		20	11	91	36
2	29		24	2	3		41	140		19	6	115	38
3	38		31	4	3	1	42	129	1	16	8	104	29
4	47		41	3	3		43	145		15	6	124	39
5	40		23	8	9	1	44	191		12	14	165	54
6	41		33	0	8	3	45	216	2	10	11	193	59
7	57		46	2	9		46	251	4	7	28	212	70
8	43		30	1	12	3	47	248		9	51	188	42
9	57		47	0	10	3	48	30			5	25	8
10	44		33	4	7	3	併1	44	2		27	15	2
11	50		32	5	13	6	“2	17	1		9	7	3
12	60		31	5	24	3		小計4.912	16	1.411	362	3.123	1.186
13	59		33	1	25	14	高1	106	99	4	3		
14	59		29	4	26	16	“2	227	2	4	25	196	58
15	63		25	1	37	14	3	330	6	8	74	242	71
16	64		31	5	28	16	4	399	1	5	94	299	83
17	62	2	26	1	33	15	5	366	1	4	45	316	93
18	66		25		41	18	6	376		8	65	303	88
19	65		18	2	45	25	7	343		4	60	279	64
20	77	1	34	5	37	16	8	347	2	5	51	289	79
21	60		28	1	31	14	9	369		2	69	298	84
22	85		29	2	54	29	10	394		5	52	337	98
23	78		22	8	48	24	11	373		4	65	304	75
24	112		41	2	69	26	12	391		4	63	324	74
25	126		44	3	79	36	13	403		3	26	374	49
26	114		44	3	67	20	14	382		4	53	325	41
27	120	1	36	8	75	30	15	390		2	76	312	54
28	127		41	2	84	34	16	335		1	38	296	43
29	140		41	11	88	50	17	409	1	2	41	365	56
30	134		38	7	89	38	18	433			33	400	52
31	152		42	4	106	42	19	452	1	1	23	427	42
32	139		38	9	92	48	20	451			2	449	90
33	140		38	7	95	37	21	413				413	81
34	146		42	14	90	26	22	394				394	82
35	142		33	11	98	47	小計	8.083	113	70	958	6.942	1.457
36	126		33	5	88	40							
37	131		43	5	83	38	合計	12.995	129	1.481	1.320	10.065	2.643
38	134	1	37	5	91	42							
39	132	1	24	25	82	28							

「中学二回卒の大先輩大崎修一氏のお便り」

名簿のことから幾度か通信をいただいたのを編集者の独断でつなぎ合わせて翁の御心境を御紹介します。

私どもの在学時代は、今でもそうでしょうが、先生には勿論、上級生に対して敬意をもって接し、風紀部を設けて生徒の風紀を重んじました。独立以前は服装は筒袖、下駄ばかりで、独立後も極めて質素を旨とし、髪は全部丸刈りで長髪は更に無く、三年生になると、軍隊から配属将校が来て普通体操以外に教練があり、秋期演習を行い、時には今

同窓会名簿と電話帳を有効に利用できない人間は世の敗残者になるであろう。電話帳には、番号はもとより、氏名（社名・屋号）住居、それから同姓同名のものは職業まで記入されている。たまたま旅行先でこの辺に、ああいう男がおつたっけと思うのだが連絡のとりようがない。そういう時には、その土地の電話帳を見ること。住所もないわからない、そういう時には電話帳を見給え。おかげで解決する。あの辺にああいうような料理屋があつたっけ、という時には職業別電話帳が案内してくれて活躍し、すべての業種に

この駒ヶ根市赤穂町へ泊りがけで途次両軍に分かれて演習を行ったものでした。教場は学年毎に定まっており、しかも席順は成績順に並ばせられました。教科には倫理学があり、修身、道徳が重視されました。数学は算術、代数、平面幾何立体幾何、三角法を習い、国語は初期には国学者のものその後には太平記、源平盛衰記、方丈記等の古典を、漢文は唐宋八大家文集、史

記等の抜粋を習いました。記等の抜粋を習いました。英語はナショナルリーダー及びユニオンリーダーでした。始業終業の合団は、電ツバ手のラッパで知らせたものでした。何分にも七年もの過去のことだから記憶もたどたどしいけれども感慨の餘たなものがあります。

四年前脳血栓におかれ母校志望益隆昌

拙率開此盛儀典思之感無益願念
宜堅守校規美風奮勉示範導後友青春必思重不來

右手のみ稍々動いて字は書けますが、白内障にて意の如くならず、腫線がわかりませんので失礼な字列おゆるし願います。

御苦勞なのは各回の責任者の方で、よく見ていただけます。御不明者が一割以下という回もありますが、他の高校の名簿にもこんなのは見ていません。責任者一人の努力でなくてその同級間の協力ということであろうと思いません。責任者一人の努力でなくしてその同級間の協力であります。責任者一人の努力でなくしてその同級間の協力であります。

○円以上)締切り十二月三十日ですからお忘れなく、ご協力をよろしくお願いします。

（年五〇〇円）未納の方は

お早くお願ひします。

四十

六年度分は四月以降にご通

知申し上げる予定ですか、二年分納入の方も相当あります。

（中二回）

松川 明生田 大崎修一

（中二回）

（中二回）